

帰国生のための学校説明会・相談会

みなさんこんにちは。そちらはもう夏休みも終わり、2学期が始まった頃でしょうか。こちらはというと長かった夏休みも今日で終わり、明日から2学期が始まります。この長かった夏休みにあった大きな変化。それは…とうとうヤンゴンでも『ヤクルト』が販売されたこと！実はミャンマーでは消化器系の病気にかかりやすいです。原因の大きなものとしては『水』。浄水場もあるのですが、500万人いるというヤンゴン市民にはとてもではないけれどいきわたりません。そのため、井戸水だけではなく、川や池の水を使ってる場合もあり、離締した先生のお宅では水道の蛇口から川エビが出てきたことも！その水で食材や食器を洗ったりしているため、消化器系の病気が多いということになります。我が家では病気予防のために今までヨーグルトや納豆などの発酵食品を多くっていました。しかし、ヤクルトの登場で、より強い味方を得た気がします。このヤクルトはヤンゴン市内で作られています。現在大絶賛キャンペーン中。お腹の中からヤンゴン市民の健康を守ってほしいです。



さてそんな夏休み期間中に、実は日本に一時帰国していました。昨年紹介したようにヤンゴンは『不健康地域』に指定されています。そのため、3年目の健康診断が義務付けられています。今回一時帰国し健康診断をしたのですが、同時に1つ仕事を行いました。それがタイトルにある『帰国生のための学校説明会・相談会』の参加です。この会は海外子女教育振興財団(JOES)が主催しているもので、多数の中学校・高校・大学、教育委員会が帰国子女やその家族、そして教員を対象に行っているものです。私は今年中学3年生担任をしているので、事前に聞いた子ども達の進路希望をもとに、進路手続きや日程等の話を聞きに行きました。



今回東京の説明会に参加したのですが、会場についてみると合計3フロアを使っての大々的な説明会でびっくりしました。参加しているのも東京近郊の学校だけではなく、京都や大阪、そして遠いところでは沖縄や北海道の学校もブースを出していました。どのフロアも人だらけで、さらに有名私立中学や有名私立高校のブースは長蛇の列になっており、それらを全て周るのは無理でしたが、なるべくうちのクラスの子が希望している学校を周ろうと頑張りました。



各ブースでは担当の方が特に丁寧に説明をしてくださいり、またわからないことや生徒の状況などについても親身に話を聞いてくれ、とてもありがとうございました。また、進路業務の進め方などについても各校毎の違いがあるのですが、それらの流れや対応についてなどつぶさに説明をしてくださいり、本当に助かりました。また、東京都や神奈川県などの教育委員会もブースを出していたので、詳細な進路の流れを確認することができとても心強かったです。担任になってからのこの4か月、進路指導で私が一番頭を悩ませていたのが『各校ごとのレベル』や『進路の流れ』、そして『テスト日程の進め方』などでした。それらの答えをここで多少なりとも得ることができ、大変有意義な時間でした。本当にありがとうございました。明日から2学期が始まりますが、子ども達、そして保護者の方と緊密に連携し、業務等のもれなく、みんなが安心して受験に臨めるようバックアップしていきたいと思います。



それではまた来月、こちらでの生活の様子を送りたいと思います。